

3. 同和問題について

(1) 同和地区や同和問題の存在を初めて知った時期

問5 日本の社会に同和地区や同和問題があるということを、あなたが初めて知ったのはいつごろですか。次の中から該当するものに○を1つつけてください。(単一回答)

- ✓ 「6歳～12歳未満(小学校のころ)」が39.1%で最も高いが、平成24年度の調査結果と比較すると、「6歳～12歳未満(小学校のころ)」の割合は7.3ポイント減少している。
- ✓ 年代別では「50～59歳」以下の年代では「6歳～12歳未満(小学校のころ)」の割合が最も高く、各年代で50%を超えている。

全体でみると、「6歳～12歳未満(小学校のころ)」が39.1%で最も高く、これに「12歳～15歳未満(中学生のころ)」の17.5%、「18歳以上」の17.1%が続いている。平成24年度の調査結果と比較すると、「6歳～12歳未満(小学校のころ)」の割合は7.3ポイント減少している。

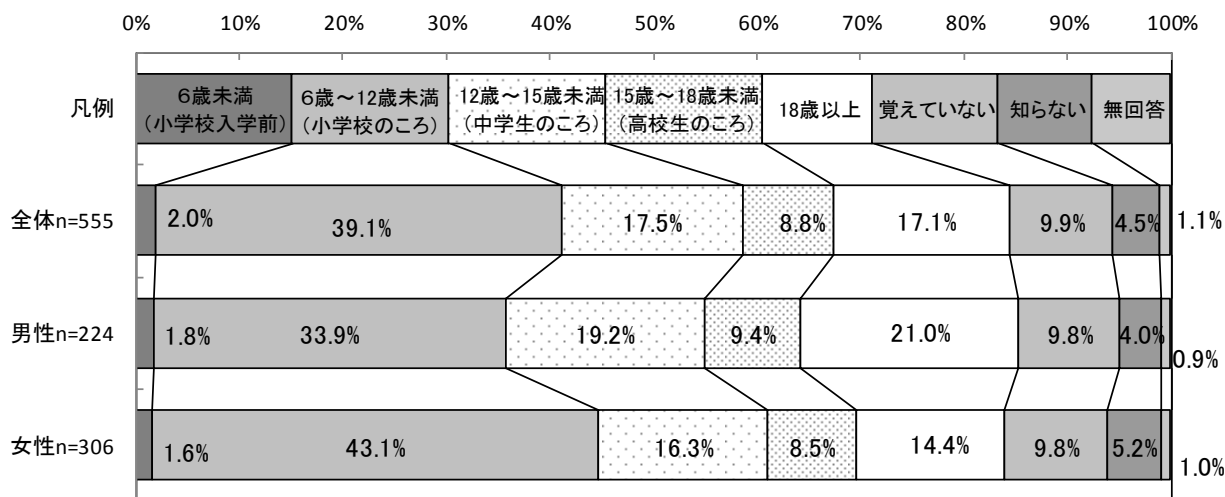
性別にみると、「6歳～12歳未満(小学校のころ)」と答えた人の割合は「男性」より「女性」の方が9.2ポイント高く、その分、「男性」では「18歳以上」の割合が「女性」よりも6.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「50～59歳」以下の年代では「6歳～12歳未満(小学校のころ)」の割合が最も高く、各年代で50%を超えている。これに対し、「60～69歳」以上の「6歳～12歳未満(小学校のころ)」の割合は、20%台以下となっている。

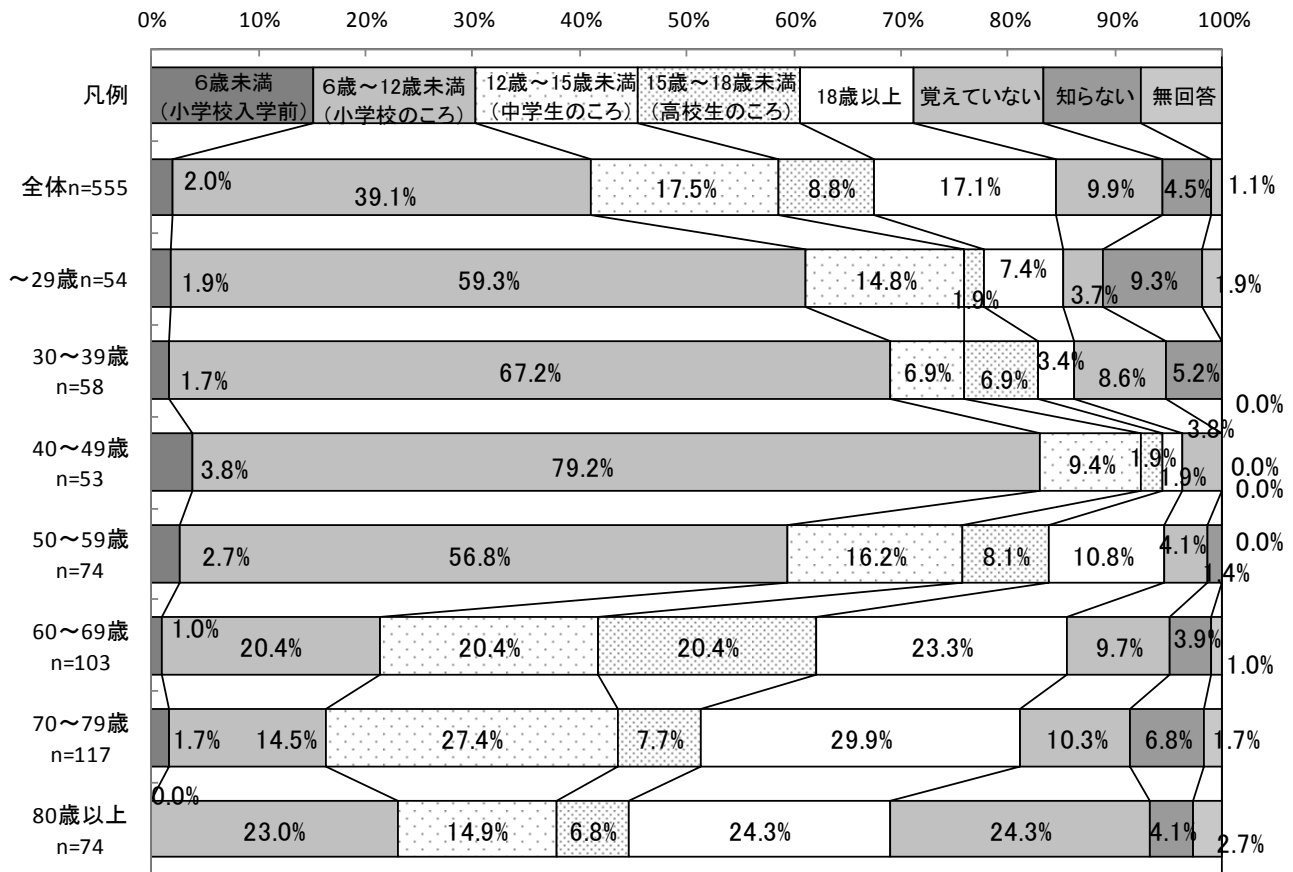
＜同和地区や同和問題の存在を初めて知った時期(全体及び24年度との比較)＞

	30年度		24年度
	度数	%	%
6歳未満(小学校入学前)	11	2.0	2.1
6歳～12歳未満(小学校のころ)	217	39.1	46.4
12歳～15歳未満(中学生のころ)	97	17.5	18.6
15歳～18歳未満(高校生のころ)	49	8.8	6.1
18歳以上	95	17.1	16.0
覚えていない	55	9.9	7.8
同和地区や同和問題のことは知らない	25	4.5	2.4
無回答	6	1.1	0.7
合計	555	100.0	100.0

＜性別にみた同和地区や同和問題の存在を初めて知った時期＞



<年代別にみた同和地区や同和問題の存在を初めて知った時期>



(2) 同和地区や同和問題の認知経路

問5. で、1～6に○をつけられた方にお尋ねします。
 問6 あなたが初めて同和地区や同和問題のあることを知ったのは、どのようにしてですか。次の中から該当するものに○を1つつけてください。(単一回答)

- ✓ 「学校の授業で習った」が32.8%で最も高いが、平成24年度の調査結果と比較すると、「学校の授業で習った」の割合は8.5ポイント減少し、「何となく知った」が5.8ポイント増加している。
- ✓ 年代別では「40～49歳」以下の年代では「学校の授業で習った」の割合が最も高く、各年代で60%を超えている。これに対し、「60～69歳」以上の「学校の授業で習った」の割合は20%台以下となっている。

「同和地区や同和問題のことを知らない」と回答をした以外の人(知っている人)に、どのようにして知ったかを聞いた。

全体でみると、「学校の授業で習った」が32.8%で最も高く、これに「家族(祖父母、父母、兄弟など)や親せきから聞いた」の17.9%、「何となく知った」の11.1%が続いている。平成24年度の調査結果と比較すると、「学校の授業で習った」の割合は8.5ポイント、「家族(祖父母、父母、兄弟など)や親せきから聞いた」は4.9ポイントそれぞれ減少し、「何となく知った」が5.8ポイント増加している。

性別にみると、「学校の授業で習った」と答えた人の割合は「男性」より「女性」の方が11.5ポイント高く、その分、「男性」では「友達や先輩から聞いた」の割合が「女性」よりも7.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「40～49歳」以下の年代では「学校の授業で習った」の割合が最も高く、各年代で60%台となっている。これに対し、「60～69歳」以上の「学校の授業で習った」の割合は20%台以下となっている。

＜同和地区や同和問題の認知経路(全体及び24年度との比較)＞

	30年度		24年度
	度数	%	%
家族(祖父母、父母、兄弟など)や親せきから聞いた	94	17.9	22.8
近所の人から聞いた	19	3.6	-
学校の先生から聞いた(個人的に)	25	4.8	-
友達や先輩から聞いた	35	6.7	-
職場の人から聞いた	16	3.1	3.6
学校の授業で習った	172	32.8	41.3
同和問題についての懇談会や研修会で知った	10	1.9	3.2
県や市町村の広報誌やパンフレットなどで知った	17	3.2	3.6
テレビ・ラジオ・新聞・本・映画などで知った	26	5.0	5.8
何となく知った	58	11.1	5.3
インターネットで知った	0	0.0	-
その他	7	1.3	1.9
無回答	45	8.6	1.0
合計	524	100.0	100.0

<性別・年代別にみた同和地区や同和問題の認知経路>

	合計	家族（祖父母、親せきから聞いた）	近所の人から聞いた	学校の先生から聞いた（個人的に）	友達や先輩から聞いた	職場の人から聞いた	学校の授業で習った	同和問題についての懇談会や研修会で知った	県や市町村の広報誌やパンフレットなどで知った	テレビ・ラジオ・新聞・本・映画などで知った	何となく知った	インターネットで知った	その他	無回答
全体	524 100.0%	94 17.9%	19 3.6%	25 4.8%	35 6.7%	16 3.1%	172 32.8%	10 1.9%	17 3.2%	26 5.0%	58 11.1%	0 0.0%	7 1.3%	45 8.6%
■性別														
男性	213 100.0%	40 18.8%	5 2.3%	6 2.8%	23 10.8%	10 4.7%	57 26.8%	6 2.8%	6 2.8%	13 6.1%	24 11.3%	0 0.0%	3 1.4%	20 9.4%
女性	287 100.0%	47 16.4%	13 4.5%	16 5.6%	11 3.8%	5 1.7%	110 38.3%	4 1.4%	10 3.5%	11 3.8%	34 11.8%	0 0.0%	3 1.0%	23 8.0%
無回答	24 100.0%	7 29.2%	1 4.2%	3 12.5%	1 4.2%	1 4.2%	5 20.8%	0 0.0%	1 4.2%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	2 8.3%
■年代別														
～29歳	48 100.0%	5 10.4%	0 0.0%	2 4.2%	1 2.1%	0 0.0%	32 66.7%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	4 8.3%	0 0.0%	1 2.1%	1 2.1%
30～39歳	55 100.0%	6 10.9%	0 0.0%	4 7.3%	2 3.6%	0 0.0%	34 61.8%	2 3.6%	0 0.0%	1 1.8%	3 5.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.5%
40～49歳	53 100.0%	5 9.4%	1 1.9%	3 5.7%	0 0.0%	1 1.9%	34 64.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	1 1.9%	6 11.3%
50～59歳	73 100.0%	11 15.1%	1 1.4%	6 8.2%	3 4.1%	0 0.0%	36 49.3%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	8 11.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 6.8%
60～69歳	98 100.0%	21 21.4%	3 3.1%	4 4.1%	12 12.2%	5 5.1%	21 21.4%	1 1.0%	6 6.1%	7 7.1%	6 6.1%	0 0.0%	3 3.1%	9 9.2%
70～79歳	107 100.0%	26 24.3%	10 9.3%	2 1.9%	11 10.3%	5 4.7%	7 6.5%	2 1.9%	5 4.7%	8 7.5%	20 18.7%	0 0.0%	0 0.0%	11 10.3%
80歳以上	69 100.0%	13 18.8%	3 4.3%	2 2.9%	5 7.2%	5 7.2%	4 5.8%	3 4.3%	3 4.3%	6 8.7%	16 23.2%	0 0.0%	1 1.4%	8 11.6%
無回答	21 100.0%	7 33.3%	1 4.8%	2 9.5%	1 4.8%	0 0.0%	4 19.0%	0 0.0%	1 4.8%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	2 9.5%

(3) 同和地区の人を嫌がったりするような意識について

問7

現在の日本において、同和地区の人を嫌がったり、避けたりするような意識がまだ残っていると思いますか。該当するものに○を1つつけてください。(単一回答)

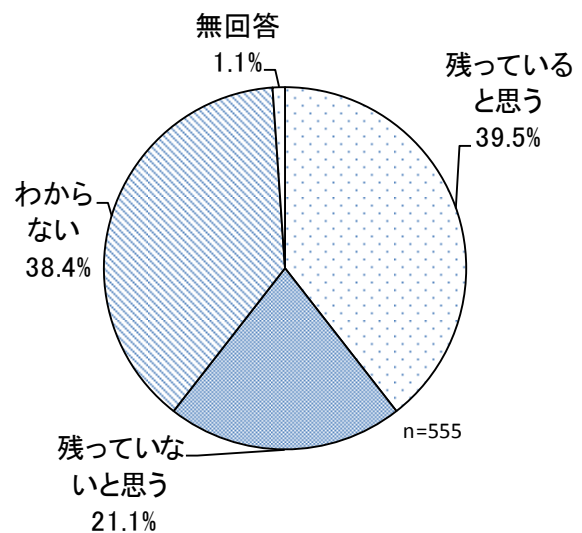
- ✓ 全体で見ると、「残っていると思う」が39.5%で最も高く、これとほぼ同率で「わからない」の38.4%が続いている。
- ✓ 平成24年度の調査結果と比較すると、「残っていると思う」の割合は8.7ポイント減少し、「わからない」が9.5ポイント増加している。

全体で見ると、「残っていると思う」が39.5%で最も高く、これとほぼ同率で「わからない」の38.4%が続いている。平成24年度の調査結果と比較すると、「残っていると思う」の割合は8.7ポイント減少し、「わからない」が9.5ポイント増加している。

性別による大きな差は認められない。年代別にみると、「30～39歳」から「50～59歳」の年代で「残っている」の割合が高くなっている。

＜同和地区の人を嫌がったりするような意識について（全体及び24年度との比較）＞

	30年度		24年度
	度数	%	%
残っていると思う	219	39.5	48.2
残っていないと思う	117	21.1	21.9
わからない	213	38.4	28.9
無回答	6	1.1	0.9
合計	555	100.0	100.0



<性別・年代別にみた同和地区の人を嫌がったりするような意識>

	合計	残 っ て い る と 思 う	残 っ て い な い と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
全体	555 100.0%	219 39.5%	117 21.1%	213 38.4%	6 1.1%
■性別					
男性	224 100.0%	87 38.8%	48 21.4%	87 38.8%	2 0.9%
女性	306 100.0%	122 39.9%	64 20.9%	117 38.2%	3 1.0%
無回答	25 100.0%	10 40.0%	5 20.0%	9 36.0%	1 4.0%
■年代別					
～29歳	54 100.0%	21 38.9%	11 20.4%	22 40.7%	0 0.0%
30～39歳	58 100.0%	33 56.9%	6 10.3%	19 32.8%	0 0.0%
40～49歳	53 100.0%	23 43.4%	11 20.8%	19 35.8%	0 0.0%
50～59歳	74 100.0%	38 51.4%	14 18.9%	22 29.7%	0 0.0%
60～69歳	103 100.0%	32 31.1%	26 25.2%	44 42.7%	1 1.0%
70～79歳	117 100.0%	39 33.3%	28 23.9%	47 40.2%	3 2.6%
80歳以上	74 100.0%	23 31.1%	17 23.0%	32 43.2%	2 2.7%
無回答	22 100.0%	10 45.5%	4 18.2%	8 36.4%	0 0.0%

(4) 同和地区を避けたりする意識が残っていると思った場面

問8 問7で「1. 残っていると思う」と答えた人にだけお尋ねします。
 具体的にどのような場面でそうした意識が残っていると思われましたか。次の中から該当するものに○をいくつでもつけてください。(複数回答)

- ✓ 今回の調査で新設した「地域・地名など」が 63.9%で最も高く、これに「結婚」の 47.9%、「就職・就業」の 20.1%が続いている。平成 24 年度の調査結果と比較可能な選択肢の中では、「結婚」の割合が 12.1 ポイント、「普段のおつきあい」 10.5 ポイント、「政策・施策・法律」 8.3 ポイントそれぞれ減少している。
- ✓ 年代別では「40～49 歳」以下の年代では「本・テレビ・インターネット」の割合が高く、各年代で 10%台となっている。これに対し、「50～59 歳」から「70～79 歳」の年代では「結婚」の割合が高くなっている。

同和地区を避けたりするなどの意識が「残っていると思う」と回答をした人に、どのような場面でそうした意識が残っているかを聞いた。

全体で見ると、今回の調査で新設した「地域・地名など」が 63.9%で最も高く、これに「結婚」の 47.9%、「就職・就業」の 20.1%が続いている。平成 24 年度の調査結果と比較可能な選択肢の中では、「結婚」の割合が 12.1 ポイント、「普段のおつきあい」 10.5 ポイント、「政策・施策・法律」 8.3 ポイントそれぞれ減少している。

性別にみると、「結婚」、「就職・就業」、「普段のおつきあい」と答えた人の割合は「女性」より「男性」の方が高くなっている。

年代別にみると、「40～49 歳」以下の年代では「本・テレビ・インターネット」の割合が高く、各年代で 10%台となっている。これに対し、「50～59 歳」から「70～79 歳」の年代では「結婚」の割合が高くなっている。

＜同和地区を避けたりする意識が残っていると思った場面（全体及び 24 年度との比較）＞

n=219	30年度		24年度
	度数	%	%
結婚	105	47.9	60.0
就職・就業	44	20.1	22.0
職種(仕事)	23	10.5	-
進学など	3	1.4	-
普段のおつきあい	39	17.8	28.3
地域・地名など	140	63.9	-
政策・施策・法律	17	7.8	16.1
本・テレビ・インターネット	17	7.8	11.2
具体的にはわからない	16	7.3	10.7
その他	3	1.4	6.3
合計	407	複数回答で1人当たり平均1.9個を選択	

<性別・年代別にみた同和地区を避けたりする意識が残っていると思った場面>

	合計	結婚	就職・就業	職種（仕事）	進学など	普段のおつきあい	地域・地名など	政策・施策・法律	ネット・テレビ・インターネット	具体的にはわからない	その他
全体	219	105 47.9%	44 20.1%	23 10.5%	3 1.4%	39 17.8%	140 63.9%	17 7.8%	17 7.8%	16 7.3%	3 1.4%
■性別											
男性	87	45 51.7%	20 23.0%	8 9.2%	1 1.1%	22 25.3%	56 64.4%	7 8.0%	5 5.7%	6 6.9%	0 0.0%
女性	122	54 44.3%	22 18.0%	14 11.5%	2 1.6%	15 12.3%	81 66.4%	10 8.2%	11 9.0%	9 7.4%	2 1.6%
無回答	10	6 60.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%
■年代別											
～29歳	21	6 28.6%	4 19.0%	3 14.3%	0 0.0%	5 23.8%	13 61.9%	1 4.8%	3 14.3%	2 9.5%	0 0.0%
30～39歳	33	14 42.4%	6 18.2%	7 21.2%	1 3.0%	4 12.1%	22 66.7%	2 6.1%	4 12.1%	1 3.0%	2 6.1%
40～49歳	23	6 26.1%	5 21.7%	2 8.7%	0 0.0%	5 21.7%	20 87.0%	3 13.0%	4 17.4%	1 4.3%	0 0.0%
50～59歳	38	20 52.6%	5 13.2%	2 5.3%	0 0.0%	6 15.8%	21 55.3%	4 10.5%	3 7.9%	3 7.9%	0 0.0%
60～69歳	32	17 53.1%	8 25.0%	4 12.5%	1 3.1%	7 21.9%	22 68.8%	4 12.5%	1 3.1%	1 3.1%	0 0.0%
70～79歳	39	25 64.1%	12 30.8%	3 7.7%	1 2.6%	6 15.4%	22 56.4%	3 7.7%	1 2.6%	4 10.3%	0 0.0%
80歳以上	23	11 47.8%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	4 17.4%	17 73.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.0%	0 0.0%
無回答	10	6 60.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%

(5) 家族等から反対を受けた場合の対応

問9 あなたが同和地区の人と結婚しようとした時、家族や親せきから反対を受けた場合、あなたはどのようにしますか。また、あなたの子どもが同じケースになった場合、親としてあなたはどのようにしますか。(複数回答、2つまでに限定)

- ✓ 回答者本人の対応の場合は、「わからない」の36.9%が最も高く、これに「他の家族や親せきに相談」の34.1%、「反対を押し切って結婚する」の21.8%が続いている。平成24年度の調査結果と比較すると、「わからない」の割合が23.7ポイント、「反対を押し切って結婚する」8.9ポイント、「他の家族や親せきに相談」8.7ポイント、それぞれ増加している一方で、「結婚をあきらめる」は1.9ポイント微減している。
- ✓ 回答者の子どもの場合の対応については「わからない」の41.6%が最も高く、これに「他の家族や親せきに相談」の31.5%、「反対を押し切って結婚する」の12.8%が続いている。回答者本人の場合と比較すると、「わからない」の割合が4.7ポイント高く、「反対を押し切って結婚させる」の割合が9.0ポイント低くなっている。

【あなたの場合】

全体で見ると、「わからない」の36.9%が最も高く、これに「他の家族や親せきに相談」の34.1%、「反対を押し切って結婚する」の21.8%が続いている。平成24年度の調査結果と比較すると、「わからない」の割合が23.7ポイント、「反対を押し切って結婚する」8.9ポイント、「他の家族や親せきに相談」8.7ポイント、それぞれ増加している一方で、「結婚をあきらめる」は1.9ポイント微減している。

性別にみると、「反対を押し切って結婚する」と答えた人の割合は「女性」より「男性」の方が高くなっている。

年代別にみると、「50～59歳」以下の年代では「他の家族や親せきに相談」の割合が高く、各年代で40%台以上となっている。「反対を押し切って結婚する」も「50～59歳」以下の年代では20%台以上の割合で高くなっている。「第三者に相談し、反対する人々を説得後、結婚する」は「40～49歳」以下の年代の割合が高く、それぞれ20%台となっている。これに対し、「70～79歳」以上の年代では「わからない」の割合が40%台と高く、「70～79歳」では「何もできない」が他の年代よりも高くなっている。

【あなたの子どもの場合】

全体で見ると、「わからない」の41.6%が最も高く、これに「他の家族や親せきに相談」の31.5%、「反対を押し切って結婚する」の12.8%が続いている。「あなたの場合」と比較すると、「わからない」の割合が4.7ポイント高く、「反対を押し切って結婚させる」の割合が9.0ポイント低くなっている。平成24年度の調査結果と比較すると、「わからない」の割合が34.8ポイント、「他の家族や親せきに相談」8.9ポイント、「何もできない」6.6ポイントそれぞれ増加している。「結婚をあきらめさせる」は1.2ポイントの微増となっている。

性別にみると、「反対を押し切って結婚する」と答えた人の割合は「女性」より「男性」の方が高く、「わからない」は「女性」の割合が高くなっている。

年代別にみると、「40～49歳」以下の年代では「他の家族や親せきに相談」と「第三者に相談し、反対する人々を説得後、結婚する」の割合が高く、「反対を押し切って結婚する」は「40～49歳」で高くなっている。

<家族等から反対を受けた場合の対応（全体及び24年度との比較）>

n=555	あなたの場合 n=555			子どもの場合 n=555		
	30年度		24年度	30年度		24年度
	度数	%	%	度数	%	%
他の家族や親せきに相談	189	34.1	25.4	175	31.5	22.6
第三者(友人、学校の先生、行政機関など)に相談し、反対する人々を説得後、結婚する(結婚させる)※	76	13.7	-	84	15.1	-
結婚をあきらめる(あきらめさせる)※	52	9.4	11.3	52	9.4	8.2
反対を押し切って結婚する(結婚させる)※	121	21.8	12.9	71	12.8	9.4
何もできない	46	8.3	8.5	64	11.5	4.9
その他	22	4.0	3.1	27	4.9	3.8
わからない	205	36.9	13.2	231	41.6	6.8
合計	711	複数回答で1人当たり平均1.3個を選択		704	複数回答で1人当たり平均1.3個を選択	

<性別・年代別にみた家族等から反対を受けた場合の対応（あなたの場合）>

	合計	他の家族や親せきに相談	第三者(友人、学校の先生、行政機関など)に相談し、反対する人々を説得後、結婚する	結婚をあきらめる	反対を押し切って結婚	何もできない	その他	わからない
全体	555	189 34.1%	76 13.7%	52 9.4%	121 21.8%	46 8.3%	22 4.0%	205 36.9%
■性別								
男性	224	69 30.8%	30 13.4%	14 6.3%	61 27.2%	21 9.4%	8 3.6%	78 34.8%
女性	306	110 35.9%	39 12.7%	35 11.4%	56 18.3%	25 8.2%	13 4.2%	118 38.6%
無回答	25	10 40.0%	7 28.0%	3 12.0%	4 16.0%	0 0.0%	1 4.0%	9 36.0%
■年代別								
～29歳	54	30 55.6%	13 24.1%	2 3.7%	20 37.0%	3 5.6%	1 1.9%	15 27.8%
30～39歳	58	25 43.1%	13 22.4%	5 8.6%	13 22.4%	3 5.2%	3 5.2%	21 36.2%
40～49歳	53	24 45.3%	12 22.6%	4 7.5%	19 35.8%	4 7.5%	1 1.9%	15 28.3%
50～59歳	74	31 41.9%	10 13.5%	9 12.2%	19 25.7%	6 8.1%	3 4.1%	26 35.1%
60～69歳	103	32 31.1%	8 7.8%	10 9.7%	20 19.4%	6 5.8%	3 2.9%	40 38.8%
70～79歳	117	28 23.9%	7 6.0%	11 9.4%	20 17.1%	19 16.2%	7 6.0%	47 40.2%
80歳以上	74	11 14.9%	8 10.8%	8 10.8%	7 9.5%	5 6.8%	3 4.1%	31 41.9%
無回答	22	8 36.4%	5 22.7%	3 13.6%	3 13.6%	0 0.0%	1 4.5%	10 45.5%

<性別、年代別にみた家族等から反対を受けた場合の対応（あなたの子どもの場合）>

	合計	他の家族や親せきに相談	人々を説得、結婚させる	先生、行政機関などへの相談、反対する	第三者（友人、学校の関係者）を巻きこむ	結婚をあきらめさせる	反対を押し切って結婚させる	何もできない	その他	わからない
全体	555	175 31.5%	84 15.1%	52 9.4%	71 12.8%	64 11.5%	27 4.9%	231 41.6%		
■性別										
男性	224	66 29.5%	35 15.6%	17 7.6%	40 17.9%	27 12.1%	9 4.0%	81 36.2%		
女性	306	100 32.7%	44 14.4%	32 10.5%	29 9.5%	36 11.8%	17 5.6%	138 45.1%		
無回答	25	9 36.0%	5 20.0%	3 12.0%	2 8.0%	1 4.0%	1 4.0%	12 48.0%		
■年代別										
～29歳	54	28 51.9%	16 29.6%	2 3.7%	8 14.8%	7 13.0%	1 1.9%	19 35.2%		
30～39歳	58	22 37.9%	13 22.4%	6 10.3%	8 13.8%	7 12.1%	4 6.9%	25 43.1%		
40～49歳	53	25 47.2%	13 24.5%	7 13.2%	12 22.6%	4 7.5%	2 3.8%	17 32.1%		
50～59歳	74	27 36.5%	11 14.9%	7 9.5%	12 16.2%	11 14.9%	3 4.1%	29 39.2%		
60～69歳	103	33 32.0%	13 12.6%	10 9.7%	13 12.6%	7 6.8%	3 2.9%	42 40.8%		
70～79歳	117	23 19.7%	9 7.7%	10 8.5%	13 11.1%	19 16.2%	8 6.8%	54 46.2%		
80歳以上	74	10 13.5%	6 8.1%	7 9.5%	4 5.4%	8 10.8%	5 6.8%	32 43.2%		
無回答	22	7 31.8%	3 13.6%	3 13.6%	1 4.5%	1 4.5%	1 4.5%	13 59.1%		

(6) 同和問題を解決するための望ましい方法

問 10

あなたは同和問題を解決するためには、どのような方法が望ましいと思いますか。次の中から該当するもの○を3つまでつけてください。(複数回答、3つまでに限定)

- ✓ 平成 24 年度の調査結果と比較すると、「わざわざとりあげないで、そっとしておく方が良い」の割合が 8.9 ポイント、「どうすればよいかわからない」が 3.5 ポイントそれぞれ増加している一方で、「差別をなくすための解放運動を積極的に取り組むべきだと思う」は 8.0 ポイント、「同和地区の人々自身が、自分の生活向上に努力すべきであると思う」が 6.6 ポイント減少している。
- ✓ 年代別にみると、「40～49 歳」以下の年代では「小・中学校などの人権教育で、同和問題に関する正しい知識を教える」の割合が高く、各年代で 50% 台以上となっている。「わざわざとりあげないで、そっとしておく方が良い」は「60～69 歳」と「70～79 歳」の年代で 30% 台と高くなっている。

全体でみると、「小・中学校などの人権教育で、同和問題に関する正しい知識を教える」の 48.3% が最も高く、これに「国や地方自治体（県・市）が、同和問題の解決に向け積極的に取り組むべきである」の 26.3%、「わざわざとりあげないで、そっとしておく方が良い」の 26.1% が続いている。平成 24 年度の調査結果と比較すると、「わざわざとりあげないで、そっとしておく方が良い」の割合が 8.9 ポイント、「どうすればよいかわからない」が 3.5 ポイントそれぞれ増加している一方で、「差別をなくすための解放運動を積極的に取り組むべきだと思う」は 8.0 ポイント、「同和地区の人々自身が、自分の生活向上に努力すべきであると思う」が 6.6 ポイント減少している。

＜同和問題を解決するための望ましい方法（全体及び 24 年度との比較）＞

n=555	30年度		24年度
	度数	%	%
国や地方自治体(県・市)が、同和問題の解決に向け積極的に取り組むべきである	146	26.3	28.2
小・中学校などの人権教育で、同和問題に関する正しい知識を教える	268	48.3	48.9
差別をしたり、差別を悪用するような場合には、法律で処罰するべきだと思う	71	12.8	13.9
差別をなくすための解放運動を積極的に取り組むべきだと思う	34	6.1	14.1
市民が自ら差別や人権について学ぶ総合的な場を充実すべきであると思う	91	16.4	17.9
同和地区の人々自身が、自分の生活向上に努力すべきであると思う	119	21.4	28.0
同和地区の人々が、一か所に固まって住まないようにすればよいと思う	117	21.1	24.7
わざわざとりあげないで、そっとしておく方が良い	145	26.1	17.2
何をしても、解決することは難しい	52	9.4	12.9
問題解決のため自分のできる限りの努力をする	31	5.6	-
その他	19	3.4	4.9
どうすればよいかわからない	56	10.1	6.6
合計	1,149	複数回答で1人当たり平均2.1個を選択	

